

2015 FIM Endurance World Championship Series, Round 2
Suzuka 8hours World Endurance Championship Race

鈴鹿8耐報告書 #9 全国 HondaDream 会 中部ブロックレーシングチーム 2015.7.23 (木) ~ 26 (日)

#9 All JAPAN Honda DREAM CENTRAL BL RT

7月23日 (木)

公式練習 1 回目 天候 雨、路面 WET

あいにくの、レインコンディションの中マシンチェックの為走行し、セッション後半には雨もやみ、午後の走行がドライコンディションになることに期待し、最後にコースインした中垣がデグナーカーブ 2 個目で、ヤマハ MOTO-GP ライダー エスパロガロ選手と接触転倒、初 8 耐の洗礼を受けてしまいます。

ダメージは大きかったが、スタッフの懸命な作業により午後の走行に間に合わすことが出来、ドライコンディションで走行することが出来ました。

7月24日 (金)

朝のフリー走行は、予選に向けてのマシンチェックに費やし予選に挑みました。

今回の 8 耐は、急遽参加して頂けることになった、第 3 ライダーの関口選手にタイムを出してもらうことを目標にマシンをセットアップしてきたので、1 回目の第 1 ライダー鈴木、第 2 ライダー中垣は無事に関口選手にマシンを託す為、1 回目の予選をこなし、第 3 ライダーの関口選手のアタックに期待しました。

14 秒 0 のタイムで予選通過を確実にして頂き、1 回目の予選を終える。

午後の 2 回目の予選

更なる順位アップの為、第 1、第 2 ライダーはタイヤ温存と経費節約の為、中古タイヤでセッションをこなし、関口アタックにスタッフ一同期待して、最後の予選に挑んでもらい、見事なアタックを披露し、12 秒 9 という CBR1000RR の SST 車両としては驚異的なタイムで 29 番グリッドを獲得すること出来ました。

その後、夜間走行、25 日のフリー走行を無事にこなし、ピットクルーのタイヤ交換の練習も順調で、日曜日の決勝をスタッフ一同、準備万端で挑むことが出来ました。

7月25日 (土)

午後のフリー走行にて明日の決勝レースシミュレーションを行う。

開催場所：三重県 鈴鹿サーキット (1 周 = 5.821km)

予選：29 番手 (タイム：2 分 12 秒 968)

決勝：49 位

天候：7月24日 (金) 曇り 路面：ドライ

7月25日 (土) 晴 路面：ドライ

7月26日 (日) うす曇 路面：ドライ

観客動員数 (4 日間合計)：120,000 人



7月26日(日) 決勝レース

チームとしてのタイヤ使用の本数の問題で、スタートライダーが鈴木、2番目に中垣、次いで、関口、鈴木、関口、中垣、鈴木、関口の作戦で挑みました。

1回目のセッション、ペースを上げることが出来ず苦戦するが、何とか周回をこなし、中垣にマシンを託す。初8耐の中垣は緊張が周りにも伝わるほど心配していたのですが、転倒事故によるペースカー介入後のリスタートで、減ったタイヤと周りのペース変化に対応できず、1コーナーで転倒してしまう。

何とかピットに戻るも損害はひどく、修復に時間を要してしまいましたが、懸命にみんなで修理し、再スタートで走ることが出来ました。

その後もピットインの際に転倒の影響による、マシントラブルがあり、その都度修理しながらの走行でありましたが、最後のセッションを関口選手が無事にチェッカーを受けて頂き、完走することが出来ました。

中部 BL として2回目の8耐でしたが、有名ライダーの参戦の影響もあり、レベルの上がった8耐で、結果は残念ではありましたが、8耐として経験することが全て起こったレースになったと思います。限られた時間の中での、迅速な対応、判断力、自己アピール、視野の広さ、他人への気配り、など多数の経験が出来た8耐になったと思います。

応援くださったスポンサー様、各ドリーム店社長様、スタッフ、現地に足を運んで頂いたお客様、暑い中本当にありがとうございました。

前社長、酒匂さんとの約束した2年はやろう！
を達成でき、感謝しております。

本当にありがとうございました。



株式会社 モトウイン

鈴木慎吾

〒565-0803 大阪府吹田市新芦屋下 6-5

TEL:06-6878-3263 FAX:06-6878-2347

E-mail:motowin@nike.eonet.ne.jp

